

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	①住環境	3	安全・安心な住まいづくりの推進
事業名	市営住宅維持管理事業	担当課名	建築住宅課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市営住宅を日常的に管理し、低所得者が低廉な家賃で入居できるよう、公営住宅を提供、及び必要な維持管理の実施
(事業概要等)
市営住宅使用料(家賃)徴収事務及び維持管理に伴う修繕等

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,177	7,468	7,845	10,193	
うち市負担分(千円)	6,177	7,468	7,845	10,193	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
家賃収納率(収納額÷調定額×100)	%	95.8	94.1	99.2	100.0
入居率(入居戸数÷入居可能戸数×100)	%	78.9	78.1	76.0	—
(指標を設定できない理由)					
低所得者等への施策のため、入居率に対する目標値は設定しない。					
(成果の概要)					
定期的な維持管理・点検及び修繕等の実施により住宅の環境維持が図られた。 市営住宅管理システム更新(令和4年3月)					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	泉大津市住宅マスタープランの改訂(平成30年度実施) 泉大津市公営住宅等長寿命化計画の改訂(平成30年度実施)
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	市営住宅は昭和40年代に建設されたものが多く、劣化が著しいため建物や設備に係る維持管理費用の確保が課題である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 公営住宅法に基づき適正に維持していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	泉大津市住宅マスタープランや泉大津市公営住宅等長寿命化計画に基づき適正な管理運営を行う必要がある。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	⑤コンパクトで居心地のよいまちづくり	①住環境	3	安全・安心な住まいづくりの推進
事業名	市営住宅施設整備事業		担当課名	建築住宅課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

低所得者に低廉な家賃で公営住宅を提供できるよう、空家となった住宅の補修工事及び維持管理に係る改修工事を行う。

(事業概要等)

経年劣化に伴う改修工事及び、空家の補修工事を実施し、入居者の募集を行い提供する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	57,723	8,152	3,817	9,584	
うち市負担分(千円)	31,019	2,295	3,817	8,824	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
改修戸数率(改修戸数÷退去戸数×100)	%	25.0	50.0	20.0	50.0

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

河原町市住の補修工事を実施し、募集空家及びストック空家の適正な整備を行った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	泉大津市住宅マスタープランの改訂(平成30年度実施) 泉大津市公営住宅等長寿命化計画の改訂(平成30年度実施)
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	泉大津市公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な市営住宅の建替や修繕、改善を実施していく費用の確保が課題である。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 公営住宅法に基づき適正に維持していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	泉大津市住宅マスタープランや泉大津市公営住宅等長寿命化計画に基づき実施していく必要がある。	